

第10回 9月8日(木) 13:00～14:30

多様性と道徳性



鄭雄一氏

東京大学大学院 工学系研究科・医学系研究科 教授
神奈川県保健福祉大学 理事・副学長
大学院ヘルスイノベーション研究科長

会場：津田塾大学小平キャンパス特別教室

<講師プロフィール>

東京大学医学部医学科を卒業、同学大学院医学系研究科時代に米国マサチューセッツ総合病院に留学、ハーバード大学医学部講師・助教授などを勤めた後、現職。

専門は、骨・軟骨の生物学、再生医学、バイオマテリアル工学。健康状態を可視化し行動変容を促す産学協創プロジェクトを推進している。神奈川県立保健福祉大学では、未病コンセプトの社会実装のための体系化と学問化に取り組んでいる。また、イノベーションマネジメントにおける道徳の役割についても研究している。

<担当スタッフより>

みなさんは、自分と他人との間に、道徳観の差異があると感じたり、それに悩んだりしたことはありませんか。例えば、自分が並んでいる列に割り込まれたらどう思いますか？また、列に割り込んだ人を叱責している人を見たらどう思いますか？列に割り込んだ人はおかしいと思うでしょうか。叱責している人は厳しすぎると思うでしょうか。どちらの考えもあり得ますが、これは皆さんの道徳観によって変化します。鄭さんは、道徳観の差異は「仲間」の範囲の違いから来ると言います。この講演を通して、自分が今持つ道徳観や、それを支える「仲間」の範囲、またそれらの変化について考えてもらえれば嬉しいです。